

のです。報告書に載っていないので価値がありませんという言い方をするわけですね。ただ、現実として、ここにいる調査員、今日、いらっしゃってくださっている行政関係の担当者の方々を含めての情報だけでは県下全域を網羅的に調査するのは難しい。ですので、この報告書に載っているものが全てではないということだけはしっかりとご理解いただきたい。特に一次産業、二次産業においては、こういうものも近代化遺産としてあり得るんだなというところを逆に知っていただきたいと思います。掲載にあたっては、10年前の温故紀行に掲載したものを割愛し、ページを少し減すとか、文化財になっているものは割愛するなど、できるだけ新しいものを入れるという選定方法をとりました。また、所有者の了解を得られないものは載せられませんから価値があっても載せられないものも当然出てきます。なので、報告書を取り壊しのアリバイに使用するような状況が起きたら、皆さんもそういうふうにお伝えいただきたいと思います。

今回、近代化遺産ということで、戦後はほとんど含まれておりません。ただ、国の登録有形文化財制度そのものは築後50年という基準を設けておりますので、昭和30年代までは対象になると言えます。

分類	項目数	執筆担当者
第一次産業		
農業	27	二村、岡崎直司
林業	4	織田博、岡崎
漁業	9	二村、岡崎
第二次産業		
鉱業	18	吉村久美子、十亀幸雄、高嶋賢二、岡崎
繊維業	13	二村、後藤治
製紙業	0	岡崎
醸造業	10	二村
製造業	6	大成経凡
木炭業	4	二村
窯業	4	大成、越智公行、石岡ひとみ
漆器業	3	大成
造船業	2	大成、越智
第三次産業		
金融業	11	土岐博史、二村
運輸・海運業	4	二村
商業・観光業	10	岡崎
別子銅山	18	末岡照啓、横井邦明、久業裕可

産業分野別一覧（分類・項目数・執筆担当者）

産業分野で取り扱ったものがこの一覧になります。左側から分類、項目数、執筆担当者の名前が入っています。項目数というのは、例えば、「盛口塩田 樋の輪」というタイトルで計算していますので、実際の棟数とか物件数でいうともっとあります。例えば、柘田製糸場は敷地内に複数の建物がありますし、砥部のミカン小屋は群として残っていますし、農業倉庫という中で扱っているのは、各地の農業倉庫を取り上げていますので、棟数とし

てはかなり多いです。

第一次産業の農業を例にしますと、ここでは日本標準産業分類によって一次、二次、三次と厳密に分けているわけではありません。ある程度、業種の関連性を見ながら分けています。例えば、農業でいくと本来、二次産業に入る農機具製造もここでは一次産業として取り扱っています。今後、扱っていきべきというか、今、考え得る業種はもっとあるんです。例えば、製糖業、茶業、肥料製造みたいなものは今回取り扱っておりませんし、施設として、みかん貯蔵庫自体は、県下全域にあると思えますが、一部しか扱っていない。茶工場、イモツボ・クワツボみたいな民家にあるものとか、家畜市場、肥溜め。肥溜めはどうか分かりませんが、全国的に見ても少ないです。伊方にある石小屋もあります。林業に関しては絶対数が不足しておりますし、漁業に関しては魚市場みたいな類はなかなかない。割と地方に行くと昭和30年代くらいでも木造の古い市場があったりしますので、恐らくそういうものは今後出てくるのではないかと思います。あとは試験研究機関の施設です。そういうものは今回ほとんど含まれていないので、もしそのようなものがあれば情報をいただきたいと思います。



外泊の石垣集落（愛南町）

農業である程度扱ったものというのは、こんなものがあります。外泊の場合は石垣、段畑、猪垣がセットで残っていますので、景観的にもとても見応えがあります。岡本さんの家は養蚕を学んで研究を始めて岡本蚕種というものを新たに見出して普及させた人です。それから伊東先生の話にありましたように劈巖透水路、仰西渠、前嶽溝は、農業用水で近世にできたものが近代になって活用されていくという本当に近代化遺産としてはいい例です。それから、農業倉庫の場合は、皆さんご存じだと思いますが、土地が広いので取り壊されてその土地を使うということが結構増えているということが今回の調査の中